

紹介

日本獣医師会雑誌年譜

| | | | |
|---------------------|----------|---|---|
| 昭和 23 年 (1948 年) | 8 月 10 日 | 日本獣醫協會創立 | |
| | 11 月 9 日 | 農林省指令第 3467 号により，社団法人日本獣医協会が設立認可。 |  |
| | 12 月 | 日本獣醫協會雑誌第 1 巻第 1 号発刊 | |
| 昭和 26 年 (1951 年) | 2 月 | 法人名が日本獣医師会と改称されたことを受けて，第 4 巻第 2 号から日本獣医師会雑誌と改称，表紙デザインも変更。 |  |
| | 5 月 | 日本臨床獣医学会発足 | |
| 昭和 28 年 (1953 年) | 10 月 | 「本誌の使命」を定める（次頁参照） |  |
| 昭和 30 年 (1955 年) | 1 月 | 旧獣医師会館落成 | |
| | 7 月 | 日本臨床獣医学会発足 | |
| 昭和 33 年 (1958 年) | 9 月 | 学会特集号発刊（以降毎年刊行される） |  |
| 昭和 34 年 (1959 年) | 1 月 | 原著論文に英文要約の添付開始 |  |
| 昭和 36 年 (1961 年) | 1 月 | 獣医師免許制度 75 周年記念特集号発刊（各地区で開催された記念行事等の関係記事を収録）表紙も特別図柄で発行。 | |
| 昭和 37 年 (1962 年) | | 表紙デザイン変更 投稿規程により，投稿論文（原著）を臨床・公衆衛生・基礎に区分する |  |
| 昭和 38 年 (1963 年) | | 日本獣医畜産学会発足，表紙デザイン若干変更。 | |
| 昭和 41 年 (1966 年) | | 表紙のデザイン変更 |  |
| 昭和 53 年 (1978 年) | 11 月 | 日本獣医師会設立 30 周年，新会館竣工記念特集 |  |
| 昭和 60 年 (1985 年) | 12 月 | 獣医師制度 100 周年記念特集 |  |
| 昭和 62 年 (1987 年) | 4 月 | 表紙デザイン変更 |  |
| 平成 5 年 (1993 年) | | 獣医学術学会年次大会を地方獣医師会委託方式に | |

| | | | |
|---------------------|------|---|---|
| 平成 7 年 (1995 年) | 9 月 | 世界獣医学大会開催 |  |
| | 11 月 | 世界獣医学大会特集（巻頭カラー） | |
| 平成 9 年 (1997 年) | 1 月 | 発刊 50 年 通巻 600 号記念号を発行 (B4 から A4 に体裁を変更)。 表紙デザインを現在の形に変更。 |  |
| 平成 10 年 (1998 年) | 11 月 | 日本獣医師会創立 50 周年記念式典 | |
| 平成 15 年 (2003 年) | 4 月 | 誌面構成の変更（会報→学会誌） |  |
| | 5 月 | 会報の背景色を淡い黄色とし、学会誌との区分をわかりやすく改善 | |
| 平成 16 年 (2004 年) | | 獣医師国家試験合格者の掲載を廃止 | |
| 平成 20 年 (2008 年) | 12 月 | 日本獣医師会創立 60 周年記念式典 | |
| 平成 22 年 (2010 年) | | 訃報の掲載を廃止 | |
| | | 会報の背景色を白色とし、誌面デジタルデータの利便性を向上 | |
| 平成 24 年 (2012 年) | 1 月 | 学会誌の構成が 3 学会誌から専門分野別学術学会誌に再編整備 | |
| | 4 月 | 日本獣医師会が公益法人化。3 学会の独立性が解消され、 日本獣医師会の学会組織の中に再編。 | |
| 平成 25 年 (2013 年) | | 学会学術誌オンラインジャーナル版の刊行を開始 | |
| 平成 28 年 (2016 年) | 4 月 | 電子投稿・査読システムの運用を開始 |  |
| | 11 月 | 第 2 回世界獣医師会 - 世界医師会 “One Health” に 関する国際会議を福岡県北九州市において開催 | |
| 平成 30 年 (2018 年) | 11 月 | 日本獣医師会創立 70 周年記念 |  |
| 令和 3 年 (2021 年) | 4 月 | 学術論文の郵送投稿を廃止し、オンライン投稿に一元化 | |
| | 10 月 | 日本獣医師会雑誌通巻 900 号発刊 | |

本 誌 の 使 命 (昭和 28 年 10 号掲載)

日進月歩の科学の進歩に伴い伸展していくわが獣医技術分野の新しい、権威ある論説、研究を掲げて獣医学術の水準を高め、さらに会員の研究業績を公表公布し、相互の切磋に資すると共に、獣医技術者の団結の中心として本会並びに地方獣医師会の活動状況の報道、会員相互の連絡親睦を密にし、畜産の振興、公衆衛生の推進に努め、以てわが獣医界の発展に大きな役割を果すを使命とする。